

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会 技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

キラキラ☆技術士増員企画です。笑 「技術士を知ろう！ in 北海道札幌工業高等学校」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2024年度の活動第3弾は、北海道札幌工業高等学校(札工)の2年生を対象に実施しました。

2週間ほど前に開催された「技術士全国大会」では、札工の生徒さん達と一緒に「キラキラ☆技術士まし×2大作戦」を遂行していましたので、例年とは異なり、生徒達からの熱量を感じながらの講演会となりました。



写真-1 ミライ研を全国区に押し上げた？。小澤代表

2. 実施概要

講演日時：2024.10.16(水)9:50～11:40

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等
技術士の仕事内容と役割(講演2編)
3年生との取組事例紹介

対象者：北海道札幌工業高等学校
土木科2年生 52名

参加者：小澤、永井、塩見、高田、川村先生
千葉(記) (ミライ研6名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

札工での「技術士を知ろう！」では、まず小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

講演最後の質問で、「川村先生が技術士であることを知っている人」と聞いたところ、一人の生徒も知らなかったようで、生徒たちは羨望の眼差しで川村先生を見ていたのが印象的でした。

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(高田技術士)

まずは札工OBでもある高田技術士から、土木系公務員の仕事と技術資格について講演しました。

自分の職歴を交えて公務員(北海道開発局)という立場で取り組んでいる仕事、研究所での経験や大学進学の際の経歴等も紹介し、その中で技術士という資格の役割や重要性などを説明しました。

また、現在の実務である「グリーンインフラ」の普及・啓発・実装について、自身が技術の翻訳者(インタープリター)の役割を担っていると説明してくれました。



写真-2 キラキラ技術士を体現した高田技術士

(2) 技術士の仕事(塩見技術士)

続いて(株)大林組に所属する塩見技術士から、「建設会社で必要な資格ってなに？ 技術士がいると現場は変わるか？」と題した講演を行いました。

技術士がいる現場では、自ら対策を提案でき、不具合も未然に防止できることを伝えてくれました。

塩見技術士ですが、札工とは元町PJでも関わりがあるせいか、札工の先生にしか見えません。笑

札工の卒業生は、建設会社系に就職する割合が高いこともあり、現場のプロである塩見技術士の言葉は、生徒達が将来を考えるととても良い機会になったようです。



写真-3 生徒達からの質問に答える塩見・永井技術士

5. 3年生との取組事例紹介

講演最後は、(株)LinC(リンク)に所属する永井技術士から対象生徒の1年先輩である、札幌工業高等学校の3年生とミライ研の支援で取り組んでいる事例を紹介しました。7年前からスタートした、札幌市内の広場活用に関する取り組みに関するもので、地域の方々の思いを形にするという課外授業のような位置づけで実施しているものです。

3年生が計画・設計班、測量班、施工班の3班に分かれて、対象の広場に係わる取組を実施。

今年は、園路の延長、モルックイベント用の整地、やすらぎエリアに作っただけのものを考え、実際にファニチャーを製作しました。その3年生の生徒数名が2年生に取り組み内容を紹介し、学校で勉強したことを実社会に適用する面白さや難しさを先輩が説明したことで、授業を受けていた2年生の生徒も、いろいろ考える機会になったようです。



写真-4 後輩達への想いを語る3年生

6. 質疑応答

参加メンバーが生徒からの質問に回答する質疑応答では「仕事をしていて良かったと思うときはいつか」、「一番辛かった仕事とやりがいのあった仕事は何ですか」、「資格を取るときに一番大変だったものは何ですか」、「技術士を最短で取るにはどうしたら良いか」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

生徒からの感想には「自分から対策を提案できたりするのがすごくかっこいいなと思いました。とれるなら私も取りたいです」、「技術士がすごいことがわかりました。思ったよりすごかった」、「将来自分が、技術士になっていたらぜひ一緒にはたらかたいです」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、有効回答数46人中41人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、46人中37人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。同アンケートの5段階評価では、今回講演の「わかりやすさ」が4.5、「満足度」が4.6と高評価をいただきました。

最後に、この出前講座は川村先生、梶先生、山本先生の多大なるご支援やご協力があって実施できています。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。